

■ 「医師確保計画」及び「へき地医療体制の整備」に対する主な意見聴取一覧

医師確保計画（資料1-2）について

番号	意見聴取	御意見の趣旨	修正頁	御意見に対する県の考え方（対応）
1	令和5年第2回徳島県地域医療総合対策協議会	・医師の高齢化だけでなく、いわゆる救急医療を支える35歳未満の若手医師が不足しているという分析も必要。	5 6 8	<p>[若手医師の状況について記載を追加]</p> <p>2 本県における医師の状況 (3) 性・年齢階級別の状況 (4) 病院・診療所別の状況 （南部圏域については、全国平均並みのため追加記載なし）</p>
2	令和5年第2回徳島県地域医療総合対策協議会	・本県の医師の年齢分布に関する「極めて深刻な状況」について考えられる影響を具体的に記載してはどうか。	5	<p>[下線部の記載追加]</p> <p>2 本県における医師の状況 (3) 性・年齢階級別の状況</p> <p>○ 年齢構成別では、全国で最も医師数の多い年齢階層が45歳から49歳及び55歳から59歳の10.6%であるのに対し、本県では65歳から69歳が11.1%と最も高く、65歳以上は、26.3%と全体の4分の1以上を占めています。また、救急医療等を支える35歳未満の若手医師については、16.0%と、全国平均の20.1%に比べ低くなっており、若手人材の不足が課題となっています。</p> <p>○ 今後、高齢医師の退職及び若手医師の不足により、医師総数が減少し、救急医療をはじめとする地域に必要な医療提供体制の維持が困難となることが予想されることから、これまでの医師確保施策に加え、地域特別枠の増員、臨床研修医のマッチング率の向上に向けた取組、診療所などの後継者不足対策の検討など、更なる施策の推進が必要となります。</p>

番号	意見聴取	御意見の趣旨	修正頁	御意見に対する県の考え方（対応）
3	令和5年第2回徳島県地域医療総合対策協議会	・ 県外出身等も含めた地域枠医師定員の画期的増員をお願いしたい。	23 41	<p>[下線部変更]</p> <p>6 医師確保のための施策 (2) 医師の養成 ① 徳島大学医学部における養成等</p> <p>○ 本県は医師多数県ですが、医師の高齢化が顕著であることから、<u>医師確保の取組をこれまで以上に充実していくことが必要であり、徳島大学医学部地域特別枠の拡大による将来の本県の地域医療を担う県内出身者の更なる増加をはじめ、徳島大学医学部に入学した県外出身者が、卒業後も本県で医師として定着するための施策の検討を進めます。</u></p> <p>○ <u>さらに、県外医学部に進学した本県出身者の卒業後の帰県を促進する施策についても検討を進めます。</u></p> <p>6-1-7 地域枠・地元出身枠の設定 (3) 今後の地域枠の設置及び必要数</p> <p>○ また、国は、恒久定員の枠内において、各都道府県における独自の医師偏在対策としての地域枠及び地元出身者枠の設置・増員等を妨げるものではないとしていることから、今後の地域における医師確保の状況も踏まえながら、徳島大学と徳島大学医学部における恒久定員の枠内における、地域枠等の拡大についての検討を進めることとします。</p>
4	令和5年第2回徳島県地域医療総合対策協議会	・ 医師の派遣について、県全体で取り組むという認識をもってもらうため、「医師派遣を行っている医療機関」を明確化してはどうか。	29	<p>[下線部変更]</p> <p>6 医師確保のための施策 (3) 医師の派遣調整等 ① <u>徳島大学及び医師の派遣を行っている医療機関の役割</u></p> <p>○ <u>従事要件が課されている医師派遣のみでは医師少数区域等において十分な医師の確保ができない場合等には、徳島大学の各教室や医師の派遣を行っているその他の医療機関は、従事要件が課されていない医師についても医師少数区域等へ派遣できるように調整する必要があります。</u></p> <p>○ 徳島大学の各教室や医師の派遣を行っているその他の医療機関が、<u>医師を派遣する場合は、医師のキャリア形成と持続可能な地域医療の提供が両立できるように、計画的な医師の派遣調整を行うことが求められます。</u></p>
5	その他 (データ更新)	・ 厚生労働省より医師偏在指標等の最新版の提供	13 51 54	<p>[以下のデータの更新]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師偏在指標 ・ 分娩取扱医師偏在指標 ・ 小児科医師偏在指標 <p>※他県の二次医療圏の再編に伴うデータの更新であり、本県の多数県等の区域設定に影響はない</p>

へき地医療体制の整備（資料1－3）について

番号	意見聴取	御意見の趣旨	修正頁	御意見に対する県の考え方（対応）
1	令和5年第2回徳島県地域医療総合対策協議会	医療DXの推進に関する記載で、今後、遠隔診断支援や遠隔カンファレンスなどのウエイトが大きくなると思われるが、5G回線をつなぐことができないような診療所もあるため、5G1本槍にならないように工夫して頂けたらと思う。	11	<p>[下線部変更]</p> <p>第1 3 へき地における医療提供体制の現状 (3)へき地の医療提供体制に係るその他の体制 ②医療DXの推進による診療支援体制</p> <p>現在、スマートフォン等での「遠隔画像診断支援アプリ」の活用をはじめ、県自らがアンテナを立て柔軟に構築できるローカル5G（高速大容量・超低遅延規格）ネットワークの整備により、<u>県立病院において「5G遠隔診療室」での高精細な4K映像での遠隔診療が実現するなど、遠隔医療システムの拡大を図っているところ</u>です。</p>
2	令和5年第2回徳島県地域医療総合対策協議会	特定行為の研修を修了した看護師が増えており、へき地、西部、南部でも活用頂けたらと思う。	16	<p>[記載追加]</p> <p>第2 2 今後の取組 (3)へき地の医療機関等に従事する医療従事者の養成・確保</p> <p>また、訪問看護事業所間の連携強化や在宅医療における質の高い効果的なケアの提供者として活躍が期待される「特定行為研修」等を修了した専門的知識を有する看護師の育成に取り組むとともに、現場での活躍促進のため、特定行為に関する情報の提供と連携や実践にかかる事例の共有等について検討を進めます。</p>
3	その他 （データ更新）	・国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」の公表	12	<p>[以下の項目のデータの更新]</p> <p>・第1 4 へき地における医療提供体制の課題 (1)人口減少と医療政策</p>
4	会議 （医療対策部会）	「口腔管理」を「口腔機能管理」に修正（う蝕処置及び補綴・矯正処置等による咀嚼機能回復、口腔感染源への対応、口腔衛生処置、摂食機能療法など歯科職種との関与の強いものを「口腔機能管理」と定義されている。）	14 19	<p>[以下の項目の文言を修正]</p> <p>・第2 2 今後の取組 (1)へき地における医療提供体制の確保 ②へき地における歯科医療体制の充実</p> <p>・体制図</p>